

函館のまちづくりを考える はこまち通信

発行／函館市地域交流まちづくりセンター



ティーショップタ日



福祉の店 どんぐり2号店



函館山 花しるべな会



サイエシス・サポート函館 科学楽しみ隊

今月の市民活動団体

- ① 函館山 花しるべな会
 - ② サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

お知らせ P9

第11回NPOまつりは、7月26日(日)

同 時 開 催

まちセン 夏休み工作フェスティバル2015

もくじ

- P2 「移住サポートセンター」のページ

P3 連載「気がつけば函館市民になっていた」

P4 NPOワンポイントアドバイス／センター長のつぶやき

P5 シニックバイウェイ／スタッフより

P6～7 NPO・市民活動紹介

P8 どんぐり2号店／Cafe Drip Drop

P9 まちセンからのお知らせ



移住サポートセンターより

昨年、函館に移住し、ティーショップタ日として活躍されている千葉県出身の大谷さんに、開業までの思い等をつづっていただきました。

ティーショップタ日

日本茶カフェ

ティーショップタ日は外国人墓地の先にある日本茶カフェです。店舗は明治18年に建築された旧函館検疫所台町措置場の建物を利用しており、函館湾を一望できる風光明媚な場所に立地しています。この歴史的建造物は、函館市景観形成指定建築物になっています。

私は特別支援学校の教員でした

が、2年前に早期退職をしました。退職時に函館移住やカフェ開業は決まっておらず、退職後約1年半かけ「自分探しの旅」をする中で函館でのカフェ開業にたどり着いたというのが本当のところです。

函館を選んだのは親戚や友人がいたこともあります。歴史を重んじる気風やそこに暮らす人々の大らかさに惹かれたからです。



ティーショップタ日

た。

また、以前訪れた素敵なかフェで生き甲斐をもってセカンドライフを送れそうなチャンスが巡ってきたのも大きな要因でした。

去年六月、ティーショップタ日を訪れたところ、入口に開業準備中の張り紙が貼っていました。張り紙に記載されてあった担当者に

電話をすると「経営者を募集中だが応募者がおらず再オープンの予定が立たない」との話がありました。後日、担当者と面会し採用していました。長期間営業していなかった店オーブンに向け妻と函館に来ました。店内は、蜘蛛の巣がはり、壁や天井はカビが生え、外壁には蜂の巣が2箇所あり、雑草は大人の膝よりも高さまで伸びていました。約2ヶ月かけて店内外の清掃を行い、ようやく10月中旬にオーブンすることができました。

私は特別支援学校の教員でしたが、2年前に早期退職をしました。退職時に函館移住やカフェ開業は決まっておらず、退職後約1年半かけ「自分探しの旅」をする中で函館でのカフェ開業にたどり着いたというのが本当のところです。

オープン前、きれいになつた店内で海を見ながらゆったりした気持ちでお茶を飲んでいたら教員時代のせわしない日々を過ごしていました。この時代、仕事を思いだしました。この時代、仕事や生活、人間関係等で疲れている方は多いはず。ここで、多くの人を癒したい。お茶のおいしさを味わってほしい。この店を続けることで、少しでも何かのお役に立ちたいと思います。これからもうろしくお願ひします。(店主 大谷)



函館市船見町25-18
連絡先:0138-85-8824
OPEN AM11:00~日没まで木曜日定休

お話しの会「まちセン茶論」

函館生活をより一層楽しむ
サロン

移住サポートセンターでは、毎月、市民と移住者が気軽に集まる会として、お話しの会「まちセン茶論(サロン)」を開催しています。

移住者は函館に移り住んでゴルということではありません。むしろ、函館暮らしのスタートラインに立つたところです。そこで、

函館での生活はどう?とか、不安や悩みこと、聞いてみたいこと、疑問に思ったことなど、なんでもざっくりばらんにお話ししましようという会が、お話しの会「まちセン茶論」です。



お話しの会「まちセン茶論」のようす

いろんな人と話をして、楽しい函館、住みよい函館をエンジョイしましょう!

開催日

4月15日(水)	13時30分
5月12日(火)	13時30分
6月10日(水)	13時30分

移住を考えている方へ

函館市地域交流
まちづくりセンター
移住サポートセンター

■電話 / 0138-22-9700
■開設時間 / 9時~21時
■開設日 / 無休(休館日を除く)



昭和9年大火による丸井デパートの惨状と、翌年開催された第1回「港まつり」の賑わいが語る北の大都会

防火線として再生された銀座通り

戦前の面影をとどめる区域として銀座通りもまた、大火からの復興力

から立ち直りと発展を願つて、このときに始まったものです。

見られます。

絵はがきが語る北の大都會

先日、中尾仁彦さんの「箱館歴史散歩の会」で話をさせていただきました。「新旧の写真で楽しむ、函館歴史散歩」という演題で、戦前の写真絵はがきに見られる西部地区の町並みと、今の町並みを見比べながら、函館の歩みを紹介しました。

戦前は「北の大都會」と呼ばれ、大正9(1920)年の第1回国勢調査では全国9位、札幌や仙台を上回る約14・6万の人口を擁した函館。

歴史を振り返つて思ふこと

「絵はがきが語る北の大都會」

古い絵はがきには、函館を何度も襲った大火を記録したものも少なくありません。惨状は目を覆うばかりですが、すぐじょじょには、そのしばらく後に発行された絵はがきには、見事に復興された町の姿が写っているところなのです。いかに町に活力があったかを物語っています。

函館市地域交流まちづくりセンターの前身である丸井今井呉服店函館支店(通称・丸井デパート)も、耐火建築でありながら、昭和9(1934)年の大火では、内部に火が回るなどして無残に焼けだれましたが、昭和10年の絵はがきでは、被害などなかつたかのように甦り、店の前が「港まつり」のパレードで埋まる様子が

気がつけば函館市民になっていた。

Vol.8

100

を物語る生き証人です。

明治20年代のはじめ、高田屋の堀割を埋め立てて誕生した銀座通りは、今のデパートの走りとも言える勧工場が設けられるなど、早くから繁華街として栄えてきましたが、大正10年の大火で灰燼と化します。

しかし被災後すぐに有志が立ち上がり、この通りを火災の広がりを食い止める防火線にしようと計画を立案します。そして今やその一部が残る不燃質建築のビル街に生まれ変わったのです。

不燃質建築はレンガ造り15棟、コンクリートブロック造り19棟、鉄筋コンクリート造り24棟を数えました。コンクリートは非常に高価で、全国的にもまだコンクリート建築は珍しかった時代でした。

函館人の先見の明に思う

日本の近代建築が、レンガ造りから鉄筋コンクリート造りへと移行するのは、大正12年9月1日の関東大震災でレンガ建築がことごとく倒壊したことによるものですが、函館ではそれよりも先に、地元の創意によって鉄筋コンクリート化が進められていたのです。日本初の鉄筋コンクリート寺院として知られる東本願

寺函館別院も大正4年に完成しています。まさか当時の函館人に関東大震災が予測できたはずもありませんが、その先見の明には驚くばかりです。

古写真を頼りに昔の函館に思いをめぐらせることは移住者の私にとっても楽しいことです。が、このような先人の睿智に気づかされると、ますます函館という町に一目置いてしまいます。

今も函館では町の活性化のため取り組みが進められていますが、遠い将来、私たちの子孫がそれを歴史として振り返ったとき、どのように感じるでしょうか。

他の町の成功例に学ぶことを否定するわけではありませんが、やはり、よそにはない独自の知恵や発想が感じられてこそ、町の歴史が輝いて見えるのではないかと思います。

★プロフィール★

おおにし つよし
大西 剛さん

大阪出身。

2011年秋より、函館に移住。
「新函館ライブラリ」を設立し、函館発の電子書籍・印刷書籍の出版に取り組む。
2012年には、2008年秋から函館通いで感じた町の魅力を綴った「新函館写真紀行」を出版。
現在は、移住サポーターとしても活躍している。

NPOワンポイントアドバイス!!

～中高生を交えた会議のコツ～

～研修・講座を上手に準備・運営するためのコツ その2～

前回は、資料作りと会場準備・後片付けのコツをお伝えしました。

そこで今回は、より集中して参加できるようにするために必要なことをお伝えします。

●使いやすい会場を選びつくるコツ

- 下見で、施設入口から会場、トイレ等のバリアフリー状況をチェックしましょう。
- 駐車場情報(使用時間帯の混み具合、料金、近隣の駐車場等)を確認しましょう。
- 託児サービス(場所があるか、人手の確保はできるか、料金等)を確認しましょう。
- 喫煙スペースへの経路や分煙ルール等を案内できるようにしましょう。
- 荷物、コートや傘などを置く場所を用意しましょう。
- 参加者が使用できる電源の有無(位置や機材までの長さはどうか)を確認しましょう。
- 実施日にある他のイベントや催しでの音量や混み具合を確認し、構成調整しましょう。
- 定員より少し広めの部屋を、時間に余裕をもって確保しましょう
- 会場での出入りが、参加者の集中を妨げないような配慮をしましょう。

●緊急時にあわてないためのコツ

- 参加者には事務局(主催者)の連絡先を複数(電話、メール、携帯等)伝えましょう。
- 避難経路や誘導の際の規則等を確認し、当日開始前に参加者に伝えましょう。

●休憩時間的有效に活用するコツ

- お茶コーナーを設置しましょう。会場後方の窓際などが邪魔になりません。また、茶菓は、可能ならば参加者に持ち寄ってもらうと交流促進になります。手が汚れず粉がこぼれたりしない、個別包装のチョコレートや飴がお薦めです。(ただし、会場によっては飲食の条件が違うので必ず施設側と相談してください)
- 資料配布や、販売が可能な場合は物販コーナーがあるとアピール度が高くなります。

参考:『NPOマネジメント 59号』IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]発行



センター長のつぶやき

まちづくりセンター センター長 丸藤 競

まちづくりセンターでは、今年のスタッフの合言葉を「本寸法でいこう!」としました。「本寸法」とは、「お手本となるような立ち振る舞い」というような意味で、落語家がよく使います。

まちづくりセンターがオープンしてこの3月でまる8年が経ちました。様々なかたからご指導やご協力をいただきながら、なんとかやってきたというのが正直な思いです。

支援センターとして持つべき力である、「相談対応力」「調査・情報収集力」「情報発信力」「コーディネート・ネットワーク力」

「資源提供力」「内部の人材育成力」「政策提言力」「2歩先の視野を持ち、一歩先のプログラムをたてられる力」等々、まだ学んでいかなくてはならないことばかりです。

だからこそ、これまで大切にしてきた「学ぶ姿勢」や「居心地の良さ」「利用者の皆様に対しての対応」に関しては、「本寸法だね」と言われるようにしていきたいと思います。

できるだけ多くの皆様に気持ちよく使っていただけるよう、これから先も利用者の皆様と一緒に同じ気持ちでまちづくりセンターをより良い施設へとつくり続けていきたいと思います。

今後とも、よろしくお願ひいたします。



シニックバイウェイ北海道 函館・大沼・噴火湾ルート

今月号は、シニックバイウェイ北海道「函館・大沼・噴火湾ルート」の連携活動である「シニックdeナイト2014-2015」の活動報告を紹介します。地域住民や観光客の全て手作りによるワックスキャンドルのほのかな灯りが幻想的でした！

- ◆ローマへの道（トラピスト修道院並木道）
12月24日（水） 17:00～20:00
- ◆福島町日向地区（国道228号沿線）
12月24日（水） 18:00～20:00
- ◆函館市縄文文化交流センター
2月1日（日） 16:00～18:00
- ◆函館市地域交流まちづくりセンター
2月1日（日） 17:00～18:30
- ◆函館新道
2月7日（土） 17:00～18:30
- ◆噴火湾パノラマパーク
2月7日（土） 17:00～20:00
- ◆大沼公園
2月7日（土） 17:00～18:00
- ◆函館朝市ひろば
2月14日（土） 17:00～18:30



▲函館市縄文文化交流センター



▲大沼国定公園



▲函館市地域交流まちづくりセンター



▲噴火湾パノラマパーク



▲函館新道

今回の担当スタッフ 中川 尚子

函館にも春がもうすぐやってきまわね。
春といえば、今年も「函館西部地区
春のバル街」の季節です。

毎年春と秋に開催され、函館市民はも
とより、市外・道外にもファンの多いこの
イベント、今回で23回目です。毎回楽しみ
にされている方、既にチケットを貰われた
方も多いと思います。

たくさんのお客様がこの日を楽しみに
西部地区にやって来ます。まちセンには当
日、インフォメーションセンター「バル街」
が設置され、チケットの販売や当日情報
の発信をします。またバル街の関連イベ
ントやライブも開催され、1年の中でもち
センが最も賑わう日の一つでもあります。
私は毎年この賑わいで、函館にも春が来
たことを実感します。



お店の情報を掲示しています



バル街!

**まちセン
スマッシュ
便り。**



です。

春とはいえ夜はまだまだ冷え込むので、
バル街の日は寒さ対策もお忘れなく。持
ち運びのできるジャケット、カーディガン
やストールなどを用意して参加するとい
いですね。

「函館西部地区 春のバル街」は4月
19日(日)の開催です。いいお天気になる
といいですね。

この日が皆さんにとっても、私たちにつ
ても、素敵な一日になりますように。

NPO・市民活動団体紹介のページ

函館山 花しるべな会

■どんな団体?



散策で出会った函館山の野の花に身も心も癒され、その偉大さ、貴重さ、大切さを感じた私たちは、この市民の財産を守り育て次代を担う子供たちに引き継いでいきたいと思っています。このため、その思返しに、函館山の素晴らしさを伝えるとともに、観察した情報の共有と交換を行い、野の花観察会や花の名前の勉強会

を実施し、函館山の生い立ち・地形・歴史・遺産・生態系とともにありますこと後世に伝承していきたいと考えています。

■会員募集など

会費 一人一口 年会費2000円

会員の特典

○花しるべな会主催の散策会に200円

で参加できる。

○「花しるべ文庫」をいつでも自由に閲覧できる。

○収集したデータ(リスト)を共有することができる。

○藤島斉著「花しるべ寝ても覚め

1冊600円で

■これから活動

2015年度実施予定

・函館山の花 観察定例会
『函館山』季節ごとの野の花を訪ねて』実施 年14回

4月27日、28日、5月18日、19日、6月29日、30日、7月27日、28日、8月24日、25日、

9月28日、29日、10月26日、27日

このほか番外編を6回予定(実施日未定)
(毎回まちづくりセンター10時出発)

参加費・会員200円、会員以外500円
・花の名前を知る・憶えるための勉強会の

開催 季節ごとに年5回程度

・花の咲いていた場所や日付の情報の収集
・収集したデータをリスト化

・「花しるべ文庫」の設置 充実とその利用

案内人：フリーライター 藤島 斎

(当会会長、函館山愛好家)

函館山の野の花フォトエッセイ「花しるべ寝ても覚めて函館山」著者
北海道新聞夕刊・みなみ風毎週水曜
日連載「函館山 花しるべ」著者

サブ案内人：元フォーク歌手 横内輝美
(当会顧問、函館山愛好家)



函館山 花しるべな会

■代表者名／会長 藤島 斎 ■事務局／顧問 横内輝美 ■会員数／52名
■電話／050-3556-3131(藤島)

NPO・市民活動団体紹介のページ



サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

■どんな団体?

はこだて国際科学祭などの科学イベントについて企画・参加・支援することを目的としてスタートした市民有志のグループです。

子どもから大人まで幅広い世代で構成されており、科学技術を楽しみながら体験学習し、親睦と情報交換を図っています。

また、理科離れが叫ばれている中、少女たちに科学の楽しさを伝えるためのアイデアを出し合い、科学教室などを開催しています。

月に一度の科学お楽しみ会(定例会)では、隊員同志で科学おもちゃ(糸電話、空気砲、フラコット飛ばしなど)で演習を行ったり、科学実験(ドライアイス、光、音の実験など)を行います。

また、道南の様々な試験場や高等教育機関の協力を得ながら「大人の社会科見学」も実施したり、隊員有志による特定分野の勉強会を通じて、科学の知識を深めています。

活動の輪を広めるためには外部での出展や講師依頼は欠かせません!ひと夏をかけて行われる科学のお祭り「はこだて国際科学祭」では、プレイイベントやサイエンスカフェの実施、サイエンスショーの上演もしています。市内近郊の家族向けイベントでも科学体験の機会を提供しています。

おうちでサイエンスをテーマにした自由研究向け講座(青年センター、まちづくり五稜郭、はこだて工芸会館など)や養護学校での科学教室では、講師の依頼を積極的に引き受けています。

身の回りには科学がいっぱい!
一緒に科学を楽しみませんか?



■団体のPR

月に一度の科学お楽しみ会(定例会)では、隊員同志で科学おもちゃ(糸電話、空気砲、フラコット飛ばしなど)で演習を行ったり、科学実験(ドライアイス、光、音の実験など)を行います。

科学に関心がある、楽しみたい方ならどなたでも入会できます。科学お楽しみ会(定例会)やイベント出展など、私たちの活動を見学してからの入会(お試し参加)も可能です。年会費は22000円ですが、学生の会費は無料です。お気軽にお問い合わせください。

■これから活動

科学お楽しみ会(定例会)は毎月第2火曜日18時30分から函館市青年センターで行っていますのでどうぞお気軽にご参加ください。

今後予定している出張出展などは左記のとおりです。

- ・はこだて花と緑のフェスティバル2015
6月28日(日)
- ・はこだて国際科学祭 サイエンスショー(仮)
8月22日(土)

■隊員募集

サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊

- | | | |
|-------------------------------------|----------------------|-------------------|
| ■代表者名／伴田 由 | ■事務局／サイエンス・サポート函館事務局 | ■会員数／20名 |
| ■電話／0138-34-6527(公立はこだて未来大学内 担当／金森) | | ■FAX／0138-34-6564 |
| ■メール info@sciencefestival.jp | | |



▲環境にやさしいせっけん



▲新商品!ふわふわパウンドケーキ

福祉の店 とんぐり 2号店

(まちづくりセンター1階)

函館山も緑の季節を迎えるようとしています。

どんぐり・2では春に向けて、いろいろな製品を取り揃えていきたいと考えています。美味しいお菓子やパンも沢山揃えています。また、季節ごとの飾り付けも工夫を凝らして、皆さまのご来店を、心からお待ちしています。

これからも素敵な製品をご提供していきたいと思いますので、是非、足をお運びください。

■営業時間／10:00～16:00

■定休日／毎週日曜日・祝日・年末年始

製品は、函館市総合福祉センター1階・函館市役所地下売店
でも販売しています。

春ですね。

cafeDripDropは、5周年を迎えます。

いつもご愛顧いただきありがとうございます。

煎りたてのコーヒー、地場野菜を使ったランチ、信頼する作り手のパンや焼き菓子…メニューの基本は変わっていませんが、5年の間にちょこちょこと変化(進化?)したものもあります。

それはいつも、お客様のひと言がきっかけでした。

こういうものが欲しい、こうしてほしい、こうだったら嬉しい…。

そういうリクエストの中から、たっぷりコーヒーや冬場のお湯サービスなどが生まれました。スペースも調理器具も限られていますが、お客様がくつろげる場所であるようさらに工夫していきたいと思っています。

いつでもお声をお聞かせください。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

春のバル街が4/19(日)に開催されます。

2年ぶりに、佐渡の「のらいぬcafe」と一緒に参加いたします。

佐渡の食材を活かしたピンチョスをぜひ味わいにいらしてください。

DripDropからは、佐渡に行かなければ飲めないはずの「のらいぬブレンド」を特別提供です。どうぞお楽しみに。



看板は厚沢部の木

■営業時間／10:00～18:00

■定休日／水曜日

ホームページ

<http://handpick.cafecoocan.jp/>

まちセンからのお知らせ

まちセン

夏休み工作 フェスティバル2015

(昨年まで開催していた「まなびっとフェスティバル」です)

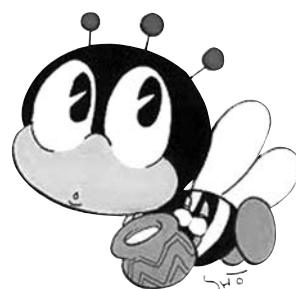
日時
会場

7月26日[日] 10:00
まちづくりセンター

年に1度のまなびっと体験講座のお祭りだよ!
夏休みの自由研究にもピッタリな教室が盛りだくさん。
家族やお友だち、みんなで遊びに来てね!

ちょこっと屋台 (10~30分程度の体験)

手ぶらで楽しめる屋台風の講座です。
予約なしでもOK!どんどん体験してみよう!
・タイルクラフト・手芸
・木工クラフト など



お申込み
問合せ

まちづくりセンター TEL. 22-9700

道南のNPO・市民活動団体が集結!!

第11回

NPOまつり

2015年7月26日(日) 10:00~

NPOまつりに参加しよう!!

■施設利用料金

フロア	区分	ご利用料金		備考
		単位	金額	
市民交流フロア (2F)	研修室(A、B)	1室1時間までごとに	500円	約52m ²
	フリースペース	1日につき	10,000円	約272m ²
	フリースペース(営利目的)	1日につき	20,000円	営利目的(販売等)
市民活動支援フロア (3F)	会議室(A、B)	1室1時間までごとに	500円	約52m ²
	貸し事務ブース(8区画)	1区画1ヶ月につき	3,000円	1区画4m ²
	ロッカー(大)	1個1ヶ月につき	400円	
	ロッカー(小)	1個1ヶ月につき	200円	
駐車場 (約30台駐車可)	・普通自動車 ・小型自動車 ・軽自動車	●2時間無料、超過30分までごとに100円 ※1Fインフォメーションに車のキーをお預けください。 ※駐車場は、南部坂側よりお入りください。		

※入場料を徴収したり、物品を販売する等、営利目的で使用する場合は、割増料金となります。詳しくはおたずねください。

■印刷機使用料金

※用紙代別

① 製版代／1枚 **100円**

② 印刷枚数／10枚まで **10円**

(以後10枚毎に10円加算となります。)

※① 製版代 + ② 印刷枚数が必要です。

※印刷用紙は各自でご用意ください。

■コピー料金

① 白 黒／A4・B4・A3 1枚 **10円**

② カラー／A4・B4 1枚 **50円**

③ カラー／A3 1枚 **100円**

■横断幕プリント／ ポスタープリント料金

※用紙代含む

① 610mm×1.5m 1枚 **2,400円**

② 610mm×3.0m 1枚 **2,600円**

③ 610mm×4.0m 1枚 **2,900円**

④ 610mm×5.0m 1枚 **3,200円**

⑤ A2版(420mm×594mm) 1枚 **1,200円**

⑥ A1版(594mm×841mm) 1枚 **1,400円**

※横断幕は文字原稿、ポスターはチラシ又はPDF形式で原稿をお持ちください。

■備品利用料金

備品名	利用料金
音響機材(研修室・会議室用)	1,000円
音響機材(フリースペース)	2,000円
プロジェクター	1,000円
スクリーン	500円

※上記以外の備品もあります。ご相談ください。

■活動支援費

..... [要相談] **500円～**

■【各施設の使用申し込みについて】

●利用日時、利用目的をご確認のうえ、TEL.0138-22-9700、または、函館市公共施設予約システムよりお申し込みください。

<https://yojaku.e-harp.jp/hakodate/>

利用区分	受付日
研修室・会議室	使用日の3ヶ月前の属する月の初日から使用日の前日までです。
フリースペース	使用日の6ヶ月前の属する月の初日から使用日の7日前までです。

..... 【お問い合わせ】



函館市地域交流まちづくりセンター

〒040-0053 北海道函館市末広町4-19

TEL.0138-22-9700 開館時間 AM9:00～PM9:00

FAX.0138-22-9800 休館日 年末年始(12/31～1/3) *器材点検のため月1回程度臨時休館する場合があります。

ホームページ <http://hakomachi.com/> 函館 まちセン

【指定管理者】NPOサポートはこだてグループ